

受任調整会議アンケート調査集計結果

記入者氏名 全体集計1 **協議対象事案の選定**について、お考えをお聞かせください。

なお、本市では、当面、市長申立て事案を対象とし、親族等申立て事案は今後の検討課題としております。

① 今までどおり、市長申立て事案全てを対象にすることが望ましい 【5件】② 市長申立て事案の中から**協議対象を選定**することが望ましい 【4件】※②の場合、対象選定の考え方や基準について、ご意見をご記入ください。

1 事案によっては、結論が明らかであり、協議をする必要性がない事案もあり、実際に協議において全く意見がでなかった事例もあった。

このような事例まで含めて対象とする必要性は乏しいと考える。

また、あくまで申立段階での事案検討であり、最終的に後見人等を選任するのは裁判所であり、最終的な結論を出す場でもないため、ある程度議論が予想される事案に限定することで十分と考えられる。

2 山口市として必要な方で良いと思います。

3 申立段階でご本人に関わっている支援者等から見て、明らかに決まった専門職種の後見人等が見込まれる場合は、協議をすることなく申立をされた方が、後見人が就任するまでの期間を短くすることができると思います。

4 類型、受任団体、対応に困難さや疑義が生じる(負債や土地問題、相続)等、協議が必要な案件のみでもよい(その判断自体が困難であれば、今まで通りでもよいと考える)

2 **構成団体**について、お考えをお聞かせください。

現在、県弁護士会、県司法書士会、県社会福祉士会及び市社会福祉協議会が構成団体となっています。

① 今までどおりで問題ない 【9件】

② 他の団体を加えることが望ましい 【0件】

※②の場合、加える団体等について、ご意見をご記入ください。

3 会議出席者について、お考えをお聞かせください。

現在、各構成団体から構成員を3名選出していただき、そのうち輪番で1名の方に出席していただいています。

- ① 今までどおりで問題ない【8件】
- ② 構成員を2名とし、毎回1名の出席とすることが望ましい
- ③ 構成員を1名で固定し、任期制(1年又は2年)とすることが望ましい
- ④ その他【1件】

1 今のままでも良いと思いますし、2名でも良いと思います。1名だと負担が大きいかと思います。

4 会議の進行方法及び協議事項について、改善点等のご意見がありましたら、ご記入ください。

- 1 ケース説明について、すべて詳細に説明いただいているが、事前配布資料もいただいているので説明は簡潔なもので問題ないと思います。
- 2 件数が多い場合、ケース説明は資料に記載されている事項の説明は省略するなど、めりはりをつければ、今のところ全件対応可能と考えます。
- 3 これまで通りの方法で良い。
- 4 ひとりひとり名指しで意見を求めると良いと思う。
※発言者が偏りがちになるため
- 5 現行のどおりでよろしいかと思えます。

【ケース検討の流れ】

(1)事務局からのケース説明

↓

(2)本人の状況、本人に対する支援の課題等の確認(質疑応答)

↓

(3)受任調整シートの項目ごとに協議(意見交換)

- ・「予測される類型」及び「予測される後見事務」について
- ・「付与が必要と想定される権限」について(保佐・補助類型の場合)
- ・「適任職種等」について
- ・「後見人等に必要と思われる支援」について

5 受任調整会議の運営全般について、改善点等のご意見がありましたら、ご記入ください。

- 1 回によっては対象事案の件数が少ないことがあり、もっと件数を増やしてもよいと思います。
- 2 事例の説明や問題の所在についての説明がわかりやすいです。いただいた情報をメンバー全員が共有した上で、検討するという形がとてもスムーズで特に改善が必要とは思っていません。
- 3 今までどおりで良いのではないかと思います。市長申立事案の中から協議対象を選定して受任調整会議をされている市町もあるようですが、協議にかかるケースとかからないケースがあり、協議にかからなかったケースが蓋を開けてみると予想以上に大変・・・と言うこともあります。また各専門職団体から会議メンバーを出しているかと思しますので、せっかくなら受任調整会議を開催したほうが良いのではないかと思います。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。